

## 5. 資料編

前述の耐震性能照査を適切に実施するためには、対象となる海岸堤防の地盤特性の把握が重要である。

「(資料1) 海岸堤防で耐震上注意すべき微地形について」では、海岸堤防が立地する微地形のうち、地震時に堤防の沈下の可能性のあるものを既存資料から整理した。

(微地形については、表-4.1.2の「より高い耐震性能が必要な海岸堤防の判断要素の例」の一つとして、また、次に示す「(資料2) 地盤調査を行う際の留意点」のうち「地盤調査のための海岸の調査区間の細分化」の判断要素として参考となる。)

「(資料2) 地盤調査を行う際の留意点」では、地盤調査位置の選定や、静的照査法、動的照査法に必要な地盤調査項目について整理した。

また、参考事例として、「(資料3) 海岸堤防等の地震被災事例」、「(資料4) 海岸堤防の耐震性能照査事例」、「(資料5) 耐震対策工法の概要」も既存資料から整理した。